

議員全員協議会意見等への答弁

第5次幸手市総合振興計画後期基本計画(素案)に関して、10名の議員からいただいた83の意見に対し、平成25年12月10日開催の議員全員協議会で以下のとおり回答しました。

No.	ページ	意見の概要	市の考え方等
1	4	①人口減少と少子化・高齢化社会のさらなる進展 ・少子化・高齢化社会のさらなる進展の文言に違和感？ ・少子化・高齢化は→少子高齢化に変えては？	少子化・高齢化の「さらなる進展」という表現に違和感があるとのことですが、調べさせていただきましたところ、「さらなる」という言葉自体は確かに良いイメージで使われることが多いようですが、ここでは、少子高齢化が「ますます進展していく」という意味で表現しております。 (「少子化のさらなる進展」という表現は、国の文献でも使われておりますので、特に問題はないものと考えております。) また、「少子化・高齢化」という表現を「少子高齢化」という表現に変えてみてはというご意見についてでございますが、少子高齢化は少子化と高齢化が同時に進行している状況でございますので、意味合いとしては同じものと考えてございます。ご理解を賜りますようよろしくお願いいたします。
2	6	④グローバル化の進展と産業構造の変化 「既存中小企業の安定的経営に向けた支援を行う」とはどのような支援を言うのか。	既存中小企業の安定的経営に向けた支援につきましては、第2編後期基本計画5-4商業・サービス業の活性化や5-5工業の活性化に記載されてございますが、県や商工会等と協力した経営相談・経営診断や市が斡旋する融資制度の検証・見直し、国や県の融資制度の広報活動等で支援してまいります。
3	7	2前期基本計画の取り組み成果 ①施策の成果指標の達成見込み 「成果指標の達成見込み」中「△」が多い1・4・5・6・7の内容と原因	まず、成果指標の達成見込み中、「△」が多い1・4・5・6・7の内容につきまして、ご説明申し上げます。政策1についてはごみ資源化率、年間火災発生件数等、政策4については子ども110番の家設置件数、市民1人あたり年間図書貸出冊数等、政策5については中心市街地の人口、工業事業者数等、政策6についてはNPOやボランティアとの協働事業数、フナナイトステイ受入外国人数等、政策7については、指定管理者制度導入施設数、電子申請の件数等でございます。原因につきましては、総じて、各種指標の達成のための啓発が行き届かなかったものや社会状況の変化によりまして、努力をさせていただいてきましたものの、調査時点(平成24年12月)においては、評価として目標達成には至らず、前年度と同様または悪化する見込みとなったものでございます。
4	7	2前期基本計画の取り組み成果 ①施策の成果指標の達成見込み 「成果指標の達成見込み」中「-」の内容と原因	まず、成果指標の達成見込み中の「- (指標の数値を把握できない)」の内容についてですが「-」となったものは8つございまして、地域活動組織の参加者数、重複受診者の割合、工業団地の整備率、学校評価の満足度、市内商店数、商業従業者数、年間総商品販売額、田園都市づくり協議会構成市町民の施設利用人数でございます。続きまして、原因についてですが、当初予定していた指標の数値が、統計調査の移行により把握できなくなったものや現状での数値の計測が困難になった指標があることなどがございます。 なお、後期基本計画では、このようなことも踏まえうえて指標の見直しを行っております。
5	9	②施策評価 評価Cの3施策に対する今後の対策は。	○「総合治水対策の推進」につきましては、施策評価Cといたしました。その大きな理由としましては、成果指標として掲げております河川・排水路の整備のうち準用河川の改修工事が前期の5年間で実施できなかったためでございます。後期計画の5年間の対策につきましては、本年度に準用河川大中落の改修工事に着手し、次年度以降も改修の延伸を行いたいと考えており、一定の成果が上がるものと考えております。 ○「商業・サービス業の活性化」につきましては、施策内容のうち後継者育成対策事業の効果検証の実施に至らなかったため施策評価をCといたしました。後期基本計画においても商工会の後継者対策協議会と連携して、後継者の育成を図っていくとともに、効果検証方法について検討していきたいと考えております。 ○「勤労者対策の充実」につきましては、施策内容のうち福利厚生の実施支援として勤労青少年ホームを中心に教養や趣味の講座を開催することとしていたしましたが、貸館となっているのが現況であったため施策評価をCといたしました。今後も、貸館が中心とはなりますが、後期基本計画では勤労者のための施設として、利用環境整備を引き続き行ってまいります。
6	11	3市民意向 ①市民意識調査結果 (2) 施策の満足度・重要度について 「協働・市民参画」「男女共同参画」の重要度が低いことをどうとらえているか。	まず、「協働・市民参画」「男女共同参画」につきましては、他自治体においても市民意識調査における重要度が低い傾向にあると伺っております。 本市では、「協働・市民参画」の取り組みを進めてございますが、その意義や必要性が市民の皆様や職員に十分浸透していないことが課題と考えてございまして、現在、「協働」に関する指針の策定を進めてございます。 また、「男女共同参画」につきましては、「第3次男女共同参画プラン」に基づきまして、関係事業の推進を図るとともに、積極的に啓発活動や情報提供を行ってまいりたいと考えております。

No.	ページ	意見の概要	市の考え方等
7	13	②市民検討会議からの提言 テーマ1:活気と活力のあるまちをつくるために①子どもが残れるまち。とした理由は？	①の子どもが残れるまち、についてですが、こちらにつきましては、「活気と活力あるまちをつくるために」というテーマの中で、子どもがいまいきと成長でき将来にわたって幸手に住み続けてもらえるまちという意味でございますが、市民検討会議委員から発言をいただきました表現に忠実にタイトルをつけさせていただいたものです。
8	18	1自然と共生した安心・安全でゆとりのあるまち 重点施策1ー①温暖化対策事業の推進 エコライフの推進 公共施設への太陽光パネルの設置 同上の屋根貸し等を加える？	公共施設に太陽光パネルを設置することについては、太陽光という自然エネルギーを活用することにより、温室効果ガスの削減に効果を発揮するものですので、次の「自然エネルギーの活用」の中の「●多様な自然エネルギーの活用を推進します。」に包括的に含まれているとの認識です。 ご指摘の施策につきましては、今後実施計画や実施段階での予算等の中で定めてまいります。
9	18	1自然と共生した安心・安全でゆとりのあるまち 重点施策1ー①温暖化対策事業の推進 自然エネルギーの活用 自然エネルギーの活用ではあまり進展していないと思われるが今後どのようにして活用していくのか。また、市民・事業者に対する支援をどのように考えているのか。	自然エネルギーの活用の中で、一般的に普及されているのが太陽光発電システムです。一般家庭でも太陽光発電システムを設置する家屋が多くなっているのが現状です。こうした状況を踏まえ設置者へ補助金を交付することなどを検討していきたいと考えております。
10	18	1自然と共生した安心・安全でゆとりのあるまち 重点施策1ー①温暖化対策事業の推進 自然エネルギーの活用 市民や事業者による自然エネルギーの導入に対する支援の検討だけでなく、市の事業としてソーラー発電による売電を検討すべきと考える。	自然エネルギーの活用として、太陽光発電システムを独自に設置する自治体もございます。設置にあたっては多額な事業費が掛かり、設置場所や設置場所の将来性などを考慮する必要があります。最近では公共施設の屋根を発電事業者へ貸し出す「屋根貸し太陽光発電事業」に取り組む自治体も多くなっており、この事業は、売電による収入はありませんが施設の使用料と固定資産税の収入が見込まれる事業でございます。今後、市として自然エネルギーの活用を考えた場合、どの方法がベストなのか検討し慎重に進めてまいりたいと考えております。
11	18	1自然と共生した安心・安全でゆとりのあるまち 重点施策1ー②循環型社会の形成 効果的なりサイクルをするための分別収集は市民1人1人の意識の向上が必要である。例えば、その他プラの出し方としてきれいにしなかつたり燃えるゴミがまじりつたりしているようなことがあるようだが、まずは市民に出し方の説明を再度しっかりすべき。(例 回覧版)	効果的なりサイクルをするための分別収集は、一人ひとりの意識の維持・向上が必要であります。したがって、健康・環境カレンダーや、ホームページでの動画配信等の広報活動を、より充実させていけるよう検討していきたいと考えております。
12	19	1自然と共生した安心・安全でゆとりのあるまち 重点施策1ー③災害に強いまちづくり 災害時に医師会と連携し、弱者をすばやく看護し充実をはかり、各地区に看護師を配置したほうがよいと考えますが。以上付けかわえてはいかがかと考えます。	現在、災害時における応援協定を各分野の団体と締結し、災害対応体制の強化を進めておりますが、今後、医師会等の医療関係分野の団体とも締結する必要があると考えておりますので、その中で検討させていただきます。
13	19	1自然と共生した安心・安全でゆとりのあるまち 重点施策1ー③災害に強いまちづくり 台風やゲリラ豪雨を想定し、家屋の床上浸水や床下浸水や道路冠水を少しでも解消するためにため池や新たに道路の下に貯留槽を作り安全な確保をはかります。以上付けかわえてはいかがかと考えます。	調整池や道路下の貯留槽などの設置の必要性につきましては、今後、下水道の雨水計画をはじめとした総合的な雨水対策を検討してまいりたいと考えておりますので、今回の後期基本計画の中には記述いたしませんので、御理解のほどお願い致します。
14	19	1自然と共生した安心・安全でゆとりのあるまち 重点施策1ー③災害に強いまちづくり 1ー5総合治水対策の推進についての細目なし。何故か。	災害に強いまちづくりの中で、総合治水対策の推進についての細目が無いことにつきまして答弁申し上げます。「後期基本計画における重点的な取り組み」においては、後期計画期間内で取り組むべき特徴的なものを掲載させていただいております。総合治水対策の推進につきましては、45ページ以降の計画本体に掲載させていただいておりますので、ご理解を賜りますようよろしくお願いいたします。
15	20	2健やかで生き生きとした暮らしのあるまち 重点施策2ー①地域子育て支援体制の充実 教育と保育の両分野の関係者や子育て当事者等を委員として子ども子育て会議を設置する。十分な議論をし当事者の意見や実態を反映させる。	子ども・子育て支援に関する事項を調査審議するための合議制機関である「子ども・子育て会議」の設置につきましては、本市では、教育・保育の両分野の関係者や子育て当事者等を委員とする幸手市児童福祉審議会を活用することとし、平成25年第2回市議会定例会において当該審議会の条例改正の議決をいただきました。十分な議論は勿論のこと、当事者の意見や実態を子育て支援施策に反映させるべく取り組んでまいります。
16	21	2健やかで生き生きとした暮らしのあるまち 重点施策2ー③高齢者福祉・介護予防事業の充実 高齢者福祉の充実の中で、元気ある高齢者の為に各種スポーツに於いてグラウンドの確保整備は入っているのか。以上付けかわえてはいかがかと考えます。	ご指摘の事項につきましては、計画の実施段階で検討させていただきたいと思っておりますが、計画素案につきましては、本文の内容とさせていただきますのでご理解をお願いいたします。

No.	ページ	意見の概要	市の考え方等
17	22	3地域の特性を活かした快適で特色あるまち 重点施策3-② 幸手駅及び周辺の整備 橋上駅舎及び自由通路の平成30年度完成予定とした理由は？	橋上駅舎及び自由通路の整備につきましては、始めに鉄道事業者と協議を行い、整備に対する基本的な合意を取り交わします。次に協定書を結び、橋上駅舎建設に向けての調査・設計・工事等が鉄道事業者によって行われます。橋上駅舎及び自由通路の工事期間と致しましては、複数年を必要といたしますことから、東武鉄道との協議により建設工事完了を平成29年度、精算期間を含めると事業完了は平成30年度を予定いたしております。
18	23	4明日を支える人を育む教育・文化の豊かなまち 重点施策4-①児童・生徒の安心・安全の確保 学校施設・設備の安全確保 学校施設・設備の非構造部材の落下、転倒防止対策を検討します。→「検討」とした理由は？	学校施設における非構造部材の安全対策工事につきましては、現在、市内全小中学校の「屋内運動場」を優先して工事を進めておりますので、「対策を推進します」に訂正します。
19	24	4明日を支える人を育む教育・文化の豊かなまち 重点施策4-②特色ある学校教育の充実 教育内容や教職員の充実 放課後に専門的な教育の推進 以上付けくわえてはいいかがかと考えます。	御指摘の事項については、今後検討させていただきたいと思いますが、計画素案については、本文の内容とさせていただきますので、御理解をお願いします。
20	25	5活力ある地域経済をおこすまち 重点施策5-②中心市街地の活性化 中心市街地における拠点施設の整備 「子育て世代や高齢者、障がい者のある方が利用しやすい商店街づくりにむけた環境整備を推進」とあるが具体的にはどの整備、目標年度はあるのか。	現在進行している具体的な整備計画、目標年度はございません。中心市街地活性化基本計画に定められた事業計画であり、また市商工会の実施する「中心市街地における商業活性化事業」に対し引き続き補助していきながら、利用しやすい商店街づくりに向けた環境整備について取り組んでまいりたいと考えております。
21	26	5活力ある地域経済をおこすまち 重点施策5-②中心市街地の活性化 情報発信やPRの強化 マスコットキャラクター「さっちゃん」を活用したPRは大変良いと思うが、まずは「さっちゃん」自体の知名度をあげるべきPRをすべきと考える。(例 グッズを増やす、色々なイベントに参加する)	ご指摘のとおり、知名度を上げるため、色々なイベントに参加することを始め方策を検討してまいります。
22	27	6市民一体となり自立した地域を育むまち 重点施策6-①市民と行政の協働体制の整備 協働のパートナーとなる市民・団体の育成 市民・事業者・各種団体が各々できることは自分で行い、自分でできないことを市にお願いするという考えを持たせるように意識改革が必要と考える。	今年度中に策定を予定している「協働の指針」をもとに、市民も行政も「協働」についての知識を身につけ、目的達成のために、それぞれの立場で責任と役割を担い、協力していける体制づくりを目指します。
23	29	7基本構想の実現のために 重点施策7-①行政運営の効率化 職員の意識改革と資質向上 全職員に分野における資格をとらせ、プロの集団を目指す、を付けくわえたほうがよいと考えるが。	ご指摘の事項につきましては、計画の実施段階で検討させていただきたいと思いますが、計画素案につきましては、本文の内容とさせていただきますのでご理解をお願いいたします。
24	34	1-1環境にやさしい地域づくり 成果指標②市内全域の清掃活動参加者 行幸湖のクリーン作戦はせっかくなので、県で草刈が終わった後に行えるよう日程の調整を図った方が効率的である。	クリーン作戦の日程等につきましては、毎年5月に県、久喜市、五霞町の担当で打ち合わせを行い、調整しております。行幸湖周辺の草刈りについてもそのときに要望し、了承されておりましたが、県の事務処理の関係で間に合わなかったと報告を受けております。今後も県との調整を図りながら進めていきたいと考えております。
25	34	1-1環境にやさしい地域づくり 成果指標③不法投棄の件数 現況値33件→目標値15件としているが、民地に放置された場所はどうか対応するのか。	民地に放置された不法投棄の処分については、基本的には地権者に処分をお願いすることになります。市としては、不法投棄禁止看板を作成し希望する方に配付しております。
26	36	1-2廃棄物の排出抑制 生ゴミ発電を行う事により杉戸町に委託する可燃ごみの量が削減でき、低炭素化にも繋がりますので、調査を進めてほしい。(減少した委託料を勘案してみると3~4年で装置代は賄えそうです)	廃棄物の排出抑制について、生ゴミの処理方法に関してですが、生ゴミにつきましては、多くの水分を含むゴミの一つであり、排出量を抑制することは大変有意義であると考えております。また、生ゴミの処分(処理)方法につきましても、複数の方法が徐々にあります。確立してきていることから、多方面から調査をしていきたいと考えております。
27	38	1-3危機管理体制の強化 現状と課題 全国瞬時警報システムについては情報連絡体制は現在どの程度進んでいるのか伺う。	全国瞬時警報システム(Jアラート)の情報が入った場合は、その情報を職員が防災行政無線を使用して放送するという手動の体制となっておりますが、現在、情報が自動的に防災行政無線から流れるようシステムの整備をしており、平成26年度から稼働予定となっております。

No.	ページ	意見の概要	市の考え方等
28	38	1-3危機管理体制の強化 現状と課題 職員の危機管理意識向上を図っていくことが必要とあるが具体的に討議されている内容について伺う。	幸手市危機管理指針に基づき、職員の研修や訓練を定期的に行っております。今年度については、7月に業務継続計画（BCP）が策定したこともあり、BCPを踏まえた災害時初動訓練を11月に実施したところです。研修や訓練については結果のふりかえりを行い、見えた課題等の改善を図っております。また、日々の業務においても危機を想定し、個別に対策マニュアルを作成するなど、職員の危機管理意識の向上を図っております。
29	40	1-4災害対策の充実 現在のハザードマップを内閣府で行っている中央防災会議において出された被害想定（H22/4）を元に早急に作成しなおす必要があります。	ハザードマップにつきましては、被害想定の見直しを踏まえ本年度中に埼玉県で地域防災計画の見直しが行われる予定です。それを受けて当市では来年度に地域防災計画を見直す計画でおりますので、その内容に基づき平成27年度に全面的な改定をしたいと考えております。
30	44	1-5総合治水対策の推進 1) 保水・遊水機能の確保 優れた保水・遊水機能を有する農地の減少に伴い、代替機能の確保→代替機能とは？	農地減少による保水・遊水機能の代替機能の確保につきましては、開発行為に伴い設置をする雨水貯留施設などによる貯留機能の確保でございます。
31	47	1-6地域安全活動の充実 3) 安心できる住環境の整備 初光ダイオード化（LED）化の導入を検討します。 「検討」とした理由？	ご指摘のようにLEDの導入につきましては、既に進めている段階でございますので、「導入を推進します。」というように訂正してまいります。
32	53	2-1子育て支援の充実 5) 子育てと仕事の両立支援の推進 5) 子育てと仕事の両立の支援の推進の中でニーズ調査を実施とあるが、平成27年度には「子ども・子育て支援制度」がスタートする予定である。このことから調査は急務と考えるがいつ頃を予定しているのか伺う。	子ども・子育て支援法に基づき、当市では、市内の0歳～小学生の保護者2,200人を対象として、平成25年10月31日に「子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査票」を送付し、現在、調査票の回収を終え、集計作業中でございます。なお、調査票の内容につきましては、幸手市児童福祉審議会でご審議いただき、その中でのご意見を反映しております。
33	56	2-2健康づくりの支援 成果指標 見直しをするたびに高い目標値を掲げている。何人で受診率が上がるというより、もっと原因分析をして数値を上げていただきたいと思います。	目標値につきましては、特定健診・特定保健指導は第2期幸手市特定健診実施計画にあげたものを使っております。がん検診は国の目標値40～50%をもとに幸手市の現状に合わせた設定をしております。 現在一部の受診者にアンケート調査を実施し、ご意見をいただいたところですが、今後さらに未受診者へのアンケート調査などによりニーズの把握を行いたいと考えておりますので、ご理解いただきたいと思います。
34	58	2-3地域医療体制の充実 成果指標①とねっとの登録者数 とねっとの登録者数H30年度4000名の目標であるが発足時からの登録者から増加率から目標数の根拠は。	とねっとは、埼玉利根保健医療圏（幸手市、行田市、加須市、羽生市、久喜市、蓮田市、白岡市、宮代町、杉戸町）内の自治体、医療機関、医師会、保健所で構成する「埼玉利根保健医療圏医療連携推進協議会」が、管理運営を行っており、この協議会において、利根保健医療圏全体のとねっど登録者数の目標を、50,000人としていることから、この目標に対して構成市町の人口であん分した数値を市の目標値として設定しました。
35	58	2-3地域医療体制の充実 成果指標①とねっとの登録者数 とねっとの登録者数を800人～4000人とあるがどのように行っていくのか。	広報紙、ホームページによる啓発、健康福祉まつり等イベント時の啓発、ウェルズ幸手来所者及び健康事業参加者等への個別勧誘、各医療機関における患者への個別勧誘等、様々な機会を利用して、登録者数の増加を図っていきたく考えています。
36	63	2-5高齢者福祉の充実 2) 生活支援の充実について 国では2025年に地域で医療や介護・生活支援が一体的に受けられる「地域包括ケアシステムへの構築」へとされていますが幸手市として、地域包括支援センターによる相談受付業務の充実についての方向性を伺う。	地域包括ケアシステムは地域の主体性に基づき「介護」「医療」「予防」「住まい」「生活支援」の5つのサービスが一体的に提供される体制です。この中で、地域包括支援センターの相談受付業務の充実についての方向性としては、関係機関との連携強化による相談機会の拡充や、訪問を契機とした早期相談体制の充実を図り、必要な支援に適切に繋げる役割を想定しております。
37	64	2-6介護保険制度の充実 現状と課題について 国では2015年度に要介護度の低い「要支援」向けサービスの市町村事業への移管といわれています。それを踏まえて、ますます介護予防の取り組みが重要課題と考えます。セミナー開催、健康体操の拡大、出前講座の拡大等、幸手市民のニーズとは何か伺う。	平成23年6月に調査した日常生活圏域ニーズ調査で、「これからの高齢者福祉施策で主に力を入れてほしいもの」という問いに対して「寝たきりにならないよう、介護予防サービスの充実」を求める回答が42.9%ありました。市の考える幸手市民のニーズとしては、介護予防に関する知識・介護予防教室の充実等の「総合的な介護予防への取り組み」を求めているものと考えております。
38	66	2-7障がいのある人の自立と社会参加の支援 成果指標①障害者就労支援センターの支援による就労者数現況値と目標値について、H25 60名、H30 86名とあるが就労可能な障がい者数が表記されていないので就労率などがわからない。	当市の就労支援センターについては、障害者職場指導員1名の人員体制で運営されており、平成24年度末時点での登録者数は131名、うち就労者数は60名となっております。 一方、「就労可能な障害者数」「就労率」については、障害の種類や特性により、どのような職種・作業内容への対応が可能なかは、それぞれ異なることからその把握は非常に困難と言えます。 但し、障害をもたれた方の地域における共生社会の実現のため、就労による自立を進めることは非常に重要であることから、「就労支援による就労者数」を指標に設定した施策の推進を図ってまいります。

No.	ページ	意見の概要	市の考え方等
39	69	2-8社会保障制度の充実と円滑化 4)生活保護の適正実施 受給申請に対して厳格な審査を行い不正な受給を防止するだけでなく、すでに不正な受給を受けている者があると考えられるので、市民からの情報をもとに不正受給者の摘発をすべきと考える。(他の自治体では警察OBを採用して行っている)	幸手市においては、就労収入が未申告の者や援助があっても申告しない者について生活実態の把握に努めているところです。警察OBの配置については、申請時や面談時に高圧的な態度をとる者や、暴力団対策として配置している意味合いが強く、今後必要であれば、組織定数の配置の中で検討して行きたいと考えております。
40	70	3-1計画的な土地利用 H21年3月に策定された総合振興計画の中の基本構想において今後10年先を見据えた土地利用構想で、新市街地ゾーンとしての上高野地区、工業系ゾーンとしてのインター東側地区の産業団地の第2期計画、戸島地区について、この5年間で市としての方向性は示されるのか。	各ゾーンの方向性につきましては、各地区に関する条件整理を進めなければなりませんので、その条件整理が整った段階でお示しすることになるものと考えております。
41	70	3-1計画的な土地利用 成果指標①市街化区域内における市街地開発事業等の事業完了率 72%→93%の内容について	市街化区域内で実施された大規模な市街地開発事業及び現在、整備が進められております産業団地及び幸手駅西口区画事業の整備の進捗状況や踏まえ、H30.3の整備完了率を算定したものです。
42	70	3-1計画的な土地利用 成果指標①市街化区域内における市街地開発事業等の事業完了率 72%→93%の指標設定のねらいは。	市街化区域内の大規模な市街地開発事業等の整備状況を把握することが、計画的な土地利用の現状を確認する指標として適当と考え設定したものです。
43	71	3-1計画的な土地利用 2)都市計画マスタープランの推進 市民との協働による計画的なまちづくりを進める。庁内の推進体制や進行管理システムの構築を引き続き検討するとは。	前期計画において設定しました施策の内容を継続して検討するため、記述したものです。
44	72	3-2圏央道インターチェンジ周辺の開発 施策が目指す市の姿 働く場所が確保され、にぎわいや活力がうまれているとは、具体的にどのような姿か。	産業団地を整備し、優良な企業に立地していただくことにより、新たな雇用が創出され、従業員など企業に関係する人々や車の往来が増加するなど、地域ににぎわいが生じることを想定しています。
45	80	3-6道路網の整備 成果指標①都市計画道路整備率 現況値39%→目標値79%となっているがどのように行っていくのか。また、4m未満の道路を買い上げるとあるがどの地域を買い上げようか。	都市計画道路整備率は、都市計画決定された道路14路線の整備状況を対象としており、現在整備が進められている圏央道及びこれに関連道路の整備完了を踏まえ、目標値を79%に設定したものです。また、4m未満の道路の買い上げに対象地域は、市街化区域内の4メートル未満の狭い道路の建築後退用地を対象としています。
46	82	3-7公共交通機関の拡充 市内循環バスの路線本数の拡充他、タクシーチケットの配布増やデマンドタクシー導入は考えていないか。	バス路線の拡充につきましては、バス路線の検討やデマンド化に対する近隣市町の調査も始めたところです。今後、交通事業者等も含めてさらに検討し、バス路線の充実を図って行きたいと考えております。
47	83	3-7公共交通機関の拡充 3)バス路線の充実 事業者においては採算が取れなければ働きかけても無理なので、市内循環バスのデマンド化及び市内タクシー事業者に対しデマンド型タクシーの要請等を行い交通弱者救済を推進すべきです。	デマンドバス・タクシーにつきましては、早期の導入に向け最善の努力をまいりたいと考えております。今後、交通事業者等も含め検討し、交通弱者救済を推進できるよう進めてまいりたいと考えております。
48	86	3-9下水道の整備 成果指標①下水道普及率 現況値43.5%→目標値47.0%とあるが、幸手市は県内で最も遅れているとされているがこの率でいいのか。また、どの地域を何m伸ばしていくのか。	①下水道普及率についてですが、上位計画である中川流域別下水道整備総合計画(中川流総計画)における計画値を基に算出した数値であります。なお、普及率は、下水道計画区域人口と整備人口の割合ではなく、行政人口に対する整備人口の割合であります。どの区域を何m伸ばしていくかについては、まず、下水道整備計画は平成36年度完了で進めておりますので、年間16haから20haを実施する予定です。区域につきましては、平成27年度までは事業認可を得ておりますので、それ以降は、効率化、事業推進の円滑化などを考慮し区域拡大を考えております。延長は、約2000m/年です。
49	89	4-1児童生徒の安心・安全の確保 2)心身の健康づくり 食育の推進を図るとともに、「保護者の理解を得ながら」学校給食への幸手産農産物の活用を… →「」は削除検討を。	「保護者の理解を得ながら」の表記につきましては、前期総合振興計画から継続して表記しているものであります。 給食において地元産食材の安定的活用を進めるにあたり学校、生産者及び保護者が連携することが大切であるため表記しております。
50	89	4-1児童生徒の安心・安全の確保 2)心身の健康づくり 学校給食については「2人目以降の給食費を補助し」 →「」は削除を。給食費補助の目的は子育て支援策(経済的支援)。	ご指摘のとおり給食費の「2人目以降の給食費を補助し、」は子育て支援策の施策でもあります。今回、学校給食にも関係が深いことから表記しております。
51	89	4-1児童生徒の安心・安全の確保 2)心身の健康づくり 就学時健診や定期健診などについて、「保護者の協力を得ながら」実施し、各種健診の児童・生徒への事後報告を徹底するとともに、「保護者への協力を求めるなど…」 →「」は削除検討を。	「保護者の協力を得ながら」「保護者への協力を求めるなど」の表記につきましては、前期総合振興計画から継続して表記しているものであります。 健康診断において、子どもの健康状態を把握するには保護者の協力が不可欠であります。また、その後の事後指導、健康管理についても保護者の協力が不可欠であるため表記しております。

No.	ページ	意見の概要	市の考え方等
52	89	4-1児童生徒の安心・安全の確保 注釈60子どもの…いきいきと取り組んで「もらう」とともに →いきいきと取り組めるように変更検討を。	市として推進し、支援する内容を、家庭教育での役割とした考えで表現したものです。
53	90	4-1児童生徒の安心・安全の確保 協働の役割 児童・生徒の就学時健診や…「を理解し、その結果に基づく 事後指導を受け入れ、実践に努めます」は実態に即している のか検討を。	「…を理解し、その結果に基づき事後指導を受け入れ、実践に努めます」の表記につきましては、前期総合振興計画から継続して表記しているものであります。 健診は教育課程上、「特別活動」の教育活動として実施しております。特に事後指導の実践については、健診結果に基づいて学校と保護者が連携し児童生徒の健康管理に努めており保護者の協力が不可欠であるため表記しております。
54	92	4-2学校教育環境の整備 中学校においては警察との連携が確立されて役割が明確化 されましたが、そのことについて生徒・保護者に対し周知徹底 を図る必要があります。	4-2での「地域との連携」については、地域の教育力を学校に取り込むことをさせてい ます。計画素案については、本文の内容とさせていただきますので、御理解をお願い します。
55	93	4-2学校教育環境の整備 1)総合的な教育行政の推進 児童生徒の増減がかたよらないように、学校の統廃合や学 区の見直しをただちに組み組むべきと考える。教室の増設、改 築など、無駄な支出をさけ、今あるもので対応すべきと考 える。	ご指摘の事項につきましては、計画の実施段階で検討させていただきたいと思いま すが、計画素案につきましては、本文の内容とさせていただきますのでご理解をお願い いたします。
56	93	4-2学校教育環境の整備 協働の役割 「各家庭で子どもの教育に積極的に取り組みます」 →「」を家庭は子どもたちの心身を育み、生活体験を通して、 生活習慣や善悪の判断など、規範意識の基盤を作ります(例) などに変更を。	各家庭での役割を抽象的に述べたものです。教育基本法では、子の教育について、生 活に必要な習慣を身に付けさせ、自立心を育成し、心身の調和のとれた発達を図るよう 努めることが具体的に述べられております。 具体的な項目につきましては、施策を実施する段階で取り入れていきたいと考えており ます。
57	94	4-3学校教育環境内容の充実 学力・体力の達成率で平成30年度の小学校の目標値を下 げているのはなぜか。	目標値については、埼玉県教育振興基本計画の目標値を利用しております。現状で は、この目標値を上回っておりますが、平成30年の段階では、教育振興基本計画の目 標値下回らないことを目標に、この数値を利用しております。
58	94	4-3学校教育環境内容の充実 成果指標④いじめの件数 現況値8→0 →子どもの変容を促した結果を検証できる指標が好ましいの では。	各学校では、児童生徒の望ましい人間関係づくりに関わる教育活動の実践や教職員 による組織的な取組など、様々な取組をしております。さらに、毎月いじめの実数を学校 から教育委員会に報告いただき、早期発見、早期対応を心がけております。これらを積 み重ねて目標値は、いじめゼロを目指していきたいと考えます
59	99	4-4青少年の健全な育成 1)青少年活動の促進 現在幸手市でスポーツの青少年育成団体と認められている所 はスポーツ少年団だけです。上部団体への登録や役員派遣 等で指導者不足のためにスポーツ少年団に加入できない団 体に対しても幸手市独自の基準を設け青少年育成団体として 認めるべきです。	現状のスポーツ少年団は、少子化の影響などで組織率が低下しています。また、そ の一方で、「単一種目活動によるクラブ」、「競技スポーツのジュニア集団」といった独自 に組織をつくっては活動する少年スポーツクラブが増えています。行政としては、地域に おけるスポーツクラブの育成などを視野に入れながら、地域内で活動している団体の ネットワーク化や一本化を図る仕組みづくりへの支援を図っていききたいと考えています。 ただ、この後期基本計画の現状と課題においては、宮村議員の意見にあるような具体 的なことまでは表現しておりませんので、この意見については、文言を修正するのでは なく、今後の実施計画等の中で検討させていただきます。
60	105	5-1農業基盤の整備 3)後継者の育成・支援 「後継者」を「担い手」に変更検討を。	後継者の育成・支援につき、「後継者」を「担い手」に変更検討とのことですが、ここ での記述につきましては、当市内において、複数の方から請負いし、既に中・大規模的に 農業を営んでいる若手の農業後継者を中心とする「農業振興課所管の幸手市農業後継 者部会員の育成を念頭においたものでありまして、広い意味では組織形態まで含みま す「担い手」を考慮したものではありません。市としましては、農業後継者部会員に対し、 随時、社会情勢の変化に対する情報提供や資質向上を図っていく支援をし、その結果、 各部会員が地域において、新たな農業後継者、また、新規就農者の裾野を広げてもら うことを期待しております。
61	108	5-3中心市街地の活性化 成果指標①中心市街地の人口 現況値6941人→目標値6950人の算出根拠は。	中心市街地の人口が減少している中、商店街及び周辺環境整備を進める中で、減 少に歯止めをかけていきたいとのことから、現況に近い数値としております。
62	108	5-3中心市街地の活性化 成果指標②空き店舗活用数 空き店舗活用数を現況値2→目標値3としているが、この目 標でいいのか。1店舗は何に使うと考えているのか。	現在、空き店舗だった2店舗をTMO幸手(商工会)において、情報発信と市民交流の 場所、またチャレンジショップとして活用しているところですが、現況は運営等も厳しく市 民団体やボランティアに支えられているところですが、しかしながら、今後も環境整備を図り ながら、拠点となる施設などとしてさらに1店舗の活用を図っていかれたらと考えています。

No.	ページ	意見の概要	市の考え方等
63	110	5-4商業・サービス業の活性化 成果指標①市内商店数 現況値518店→目標値520店の算出根拠は。	個々の店舗の魅力を高めていただくことはもとより、商店街全体を魅力あるものとする対策を検討しながら、市内全体として現況に近い数値としております。
64	110	5-4商業・サービス業の活性化 成果指標②商業従業員数 現況値3833人→目標値3840人の算出根拠は。	商店街の商業従事者の減少に歯止めをかけながら、市内全体として現況の数値に近い数値としております。
65	111	5-4商業・サービス業の活性化 2)後継者の育成・支援 「後継者」を「担い手」に変更検討を。	市内には個人商店が多く、特にこの後継者を育成・支援していきたいと、表現しているものです。
66	112	5-5工業の活性化 5年後の目標値が産業団地が整備されるのに変化がないのは何故か。	企業への土地引き渡しは平成28年度であり、その後に事業所の建設となるため、産業団地の本格的な稼働は平成31年度以降を想定していることから、5年後の目標値には反映しませんでした。
67	114	5-6観光の振興 権現堂公園の有効活用を行うべきです。(11月～2月までの4か月間LED照明により桜の飾り付けを行う)	LED照明によるイルミネーションについては、現在実施する予定はございませんが、県営権現堂公園は、本市の代表的な観光資源でありますので、年間を通してより多くの観光客が訪れる賑わいのある観光地となるよう、引き続き県営権現堂公園の指定管理者と協議を図ってまいります。
68	130	7-1計画的な行政運営 施策が目指す市の姿 民間活力による「身近な行政サービス」とは	民間活力による身近な行政サービスについてでございますが、こちらにつきましては、行政として更なる指定管理者制度の促進を図るなど民間に任せられた方がよりよいサービスが期待できるものは、民間企業、NPO、市民団体に委託し、新たな役割分担の構築に努め、市民の皆様には、多様な形態で身近にサービスを受けていただくものでございます。
69	130	7-1計画的な行政運営 成果指標②指定管理者制度導入施設数 指定管理者制度導入施設数を目標値29にしているが対象はどこを考えているのか。	現況施設14施設に、平成26年度から新たに制度導入を予定している街区公園と地区公園、計13か所と今後、制度の導入を検討している図書館と勤労福祉会館 2施設を加え、合計29施設を目標値としております。
70	132	7-2財政健全化の推進 成果指標③土地開発公社の債務保証対象土地比率 現況値11.7%→目標値10.0% 今後5年間の財政やまちづくりに与える影響は。	土地開発公社の債務保証対象土地については財政健全化計画期間から計画的に買入れを行っています。これは幸手市全体の財政健全化指標である将来負担比率の対象となっていることからです。 この比率を11.7%から10.0%にする目標についてですが、まず財政に与える影響としては、将来負担するものの比率が減少するわけですので、今後の財政状況には好影響を与えることとなります。 ただし、この買入れを行う期間については、その買入れに財源を必要とするため、他の事業への財源は圧迫されることとなります。 しかしながら、当市におきましては、これまでの買入れで概ね10%に近い数値となっていること、さらには、土地開発公社所有地の多くは西口地区区画整理計画地内にございますことから西口地区区画整理を実施することにより比率は減少することから、後期基本計画期間の前半にはこの目標は達成できるものと見込んでおります。 次に、まちづくりに与える影響についてですが、先程も申し上げましたとおり、本比率が減少すれば、将来負担するものの比率が減少するわけですので、今後のまちづくりに好影響を与えることとなりますが、比率の減少が直接の要因ではなく、比率を下げる過程での事業の実施状況などがまちづくりに与える影響は大きいものと考えます。 なお、本比率の10.0%につきましては、市の財政健全化のみではなく、市が所有する公社等についても健全化をすべきものとして、国・県からの通知において示された数値となっております。
71	136	7-4信頼のある人材管理・育成 成果指標①職員の研修参加延べ日数 成果指標として職員の研修参加延べ日数をあげているがこれから市民サービスの向上、職員削減を行うにあたり役所としての機能を保てるのか。	成果指標の達成を目指すことはもちろんですが、幸手市職員人材育成方針とこれに基づく研修計画に則り、効率的に研修を進めることで、真に時代の変化に対応できる人材の育成に取り組み、市役所機能の維持・向上を図ります。
72	136	7-4信頼のある人材管理・育成 信頼のある人材管理・育成を実現するため、市職員の地域コミュニティへの参加や挨拶運動などがあると思うが、施策内容に入れる考えは。	市職員の地域コミュニティへの参加や挨拶運動等は人材管理・育成のために必要なことだと考えてございますが、第2編後期基本計画7-4信頼のある人材管理・育成 2)職員の能力開発の「自治体職員として必要な基礎的能力の向上」や「自己啓発による能力向上」の記述に内包されるものと考えてございます。

No.	ページ	意見の概要	市の考え方等
73	140	7-6広域行政の確立 成果指標①広域で実施している事業数 現況値9件→目標値12件としているが現在の事業とこれから着手していく事業はなにか。また、市町村合併の検討とあるが、市町村合併はどのように考えているのか。	現在広域で実施している事業は、広域利根斎場組合、東部消防組合、利根川栗橋流域水防事務組合、人づくり広域連合、後期高齢者医療広域連合、田園都市づくり協議会、ごみ処理、し尿処理、とねっとでございます。また、これから着手していく事業は、災害時広域連携協定などに取り組んでまいりたいと考えております。 続きまして、市町村合併についてですが、合併によるスケールメリットを求めていくことは重要なことと考えておりますが、合併には相手方もあり、市民のみなさんの機運もあることから、総合的に勘案した上で慎重に考えまいりたいと存じます。
74	185	後期基本計画指標一覧 1自然と共生した安心・安全でゆとりのあるまち 1環境にやさしい地域づくり エコライフDAYにおける二酸化炭素の削減量 市内全域の清掃活動参加者 この指標で施策の達成度が計れるのか	環境問題に関心を持った清掃活動参加者数やエコライフDAYの二酸化炭素の削減量は、客観的指標として望ましいものと考えております。
75	185	後期基本計画指標一覧 1自然と共生した安心・安全でゆとりのあるまち 3危機管理体制の強化 防災・防犯情報のメール配信サービス登録件数 この指標で施策の達成度が計れるのか	情報を一度に多くの人に伝達できる「メール」は災害時の有効な伝達手段であり、個人の手元に情報が残ることからも、市民の情報収集手段としても有効なものであると考えます。よってより多くの市民がこのメール配信サービスに登録することは、市民の危機意識の醸成、危機管理体制の強化につながることから、指標として妥当なものと考えております。
76	185	後期基本計画指標一覧 2健やかで生き生きとした暮らしのあるまち 3地域医療体制の充実 とねっとの登録者数 この指標で施策の達成度が計れるのか	とねっとは、埼玉利根保健医療圏内において、ITを活用し診療情報を共有化する地域医療ネットワークシステムを構築するものです。 このシステムにより、かかりつけ医と中核病院が役割を分担しながら連携し、地域全体で一貫性のある切れ目のない医療サービスを提供することが、今まで以上にできるようになります。 また、自分で測定した血圧等の数値をパソコン等に登録することで、自身の健康管理にも役立つものとなっています。 こうしたことから、とねっとは地域医療の充実を図るものとして有効であることから、とねっとの登録者数を成果指標に設定し、とねっとを推進していくものです。
77	186	後期基本計画指標一覧 4明日を支える人を育む教育・文化の豊かなまち 3学校教育内容の充実 いじめの件数(0にできるのか) この指標で施策の達成度が計れるのか	各学校では、児童生徒の望ましい人間関係づくりに関わる教育活動の実践や教職員による組織的な取組など、様々な取組をしております。さらに、毎月いじめの実数を学校から教育委員会に報告いただき、早期発見、早期対応を心がけております。これらを積み重ねて目標値は、いじめゼロを目指していきたいと考えています。
78	187	後期基本計画指標一覧 5活力ある地域経済をおこすまち 8消費生活の支援 消費生活相談年間件数 消費生活に関する講演会の参加者数 この指標で施策の達成度が計れるのか	一人でも多くの市民に、消費生活相談を利用していただき、また、消費生活に関する講演会に参加していただくことで、多様化する消費者被害の予防やトラブルの解決につながり、正しい判断ができる消費者の育成が図れるものと考えております。
79	187	後期基本計画指標一覧 6市民一体となり自立した地域を育むまち 2コミュニティ活動の支援 クリーン作戦の参加者数 この指標で施策の達成度が計れるのか	クリーン作戦は、広く市民に参加していただいております。市民が一体となったコミュニティの醸成につながっているものと考えておりますので、この活動への参加者数が地域の活動に参加いただいている指標の一つになると考えております。
80	187	後期基本計画指標一覧 7基本構想の実現のために 3広報・広聴・情報公開の充実 タウンミーティングの参加者数 この指標で施策の達成度が計れるのか	タウンミーティングは、広く市民の声を聴くという広聴の観点から、市民が市政に対して自由に意見交換ができる場として開催しており、より多くの市民に積極的に参加していただき、活発な意見交換をすることで、多岐にわたる市民の意見を聴取し市政に反映していくことができると考えています。 広聴事業の性格上、成果をお示しすることが難しい面はありますが、タウンミーティングの参加者数は、経年データを把握することのできる客観的な数値として、広聴の充実について達成度が図れる指標と考えております。
81	全般	全体を通して成果目標が未達の場合どうするのか。	全ての成果指標の達成を目標とすることが前提ですが、未達になってしまったものは、検証・分析を行い、成果目標達成に向けて改善がなされるよう、引き続き取り組んでまいりたいと考えております。
82	全般	重点施策は成果指標がない。成果はどのように管理するのか。	重点施策の成果の管理についてでございますが、重点施策は基本構想で示されておりまして、重点的な取り組みや後期基本計画の施策等は基本構想を基に設定されてございます。そのため、重点施策を始めとした基本構想に基づいた基本計画の施策の成果を測ることで、重点施策につきましても、成果を管理できるものと考えてございます。

No.	ページ	意見の概要	市の考え方等
83	全般	<p>安心安全について  「安全第一」という標語があるように、安全でないと安心できないので、今後は安全安心と表現すべきである。(他はだいぶ変わってきている)</p>	<p>安心安全を安全安心という表現にするべきということですが、安心安全という表現は基本構想にも使用してきた経緯がございます。後期基本計画では安心安全と表現させていただきますと考えております。次期計画策定の際には、参考にさせていただきますと存じます。</p>